

事業番号	14 04 04	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	特別支援教育課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S59	～

1 事業の概要

目指す姿	盲・ろう学校の体育担当教諭、養護学校の知的障害児等担当教諭、及び寄宿舎指導員が妊娠した際に母体保護のため活動内容を制限する必要があり、児童生徒に十分な指導ができない状況である。このため、体育代替非常勤講師、妊娠教員補助員及び寄宿舎指導員宿直代替員等を配置することにより、障害児への指導を充実させるとともに、妊娠した教職員の母体保護を図る。	
現状	○当事業は組合交渉を重ねる中で創設・拡充が図られてきたもので、現在も制度の拡充（職域）を求める強い声がある。 ○女性の採用数の増加や育児休業制度の充実等により、長期の休暇取得や復帰後の短時間勤務が可能となり、育児休業制度を利用して出産する女性職員が増加しており、当制度を利用する職員も同様に増加している。少子化対策、子育て支援が社会的に重要とされている中で、県としても職員が安心して子供を産み育てる環境を整えることが求められている。	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他() 女性教職員が妊娠した際に利用できる制度であり、県としても教職員が安心して子供を産み育てる環境を整えることが求められている。	

事業内容	① 成果目標(H24)				
	○対象人数を体育代替3人、学級担任補助員31人、寄宿舎指導員宿直代替員5人と想定し、代替員等を配置することにより、障害児への指導を充実させるとともに、妊娠した教職員の母体保護を図る。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)
1.体育代替非常勤講師	直接		105		104
2.学級担任補助員	直接	・非常勤講師25人の任用	8,462	8,434	11,398
3.寄宿舎指導員宿直代替	直接	・非常勤講師1人の任用	390	116	538
合計			8,957	8,550	12,040

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	12,343	11,137	8,957	12,040			目標	成果	達成状況	
		補正予算					体育代替非常勤講師	3人	3人	0人	未達成	3人
		合計(A)	12,343	11,137	8,957	12,040	学級担任補助	31人	31人	25人	未達成	32人
	Aの財源	国庫支出金					宿直代替	5人	5人	1人	未達成	4人
		県債										
		その他(諸収入)	62	54	43	49						
		一般財源	12,281	11,083	8,914	11,991						
	決算額(B)	6,246	6,445	8,550								
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10							
	概算人件費(C)	832	826	826	826							
概算事業費(B(A)+C)		7,078	7,271	9,376	12,866							

目標に対する成果の状況	・過去の実績から算出した代替教員等の配置人数を目標に設定したが、その人数には達しなかった。しかし、子どもを産み育てる環境整備が教職員から求められたことに対し、求めに応じることができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 体育代替非常勤講師、妊娠教員補助員及び寄宿舎指導員宿直代替員等を配置することは、障害児への指導を充実させるとともに、妊娠した教職員の母体保護を図るために欠かすことはできないため、今後もニーズに応じた対応をしていきたい。
---------------------	--